



障がい者らが料理を準備し、接客を行うカフェ

中庭を明るく利用しやすい空間に

市役所中庭改修

市役所の中庭の改修工事が完了し、明るく開放的な空間になりました。

7月から部分改修を重ね、デザインを一新。また、玄関から中庭へそのまま通行できるようになりました。

新しくなった中庭では、「Central Lobby Cafe」が10月23日に再開。カフェは、障がい者就労事業所で働く人の販売実践の場として活用されています。

3か所の事業所の障がい者らが接客し、それぞれ火曜日、水曜日、金曜日の午前11時から午後2時の間、日替わりでパンやカレーライス、パスタ料理などを提供しています。

外国の食と文化を体験

そうじゃインターナショナルフェスタ

10月17日、総社市地域コミュニティ連絡協議会と総社ブラジリアンコミュニティ&インターナショナルフレンズによる多文化共生イベントが、カミガツジプラザで行われました。

ステージでは、ブラジルやフィリピンなど各国のダンスや、和太鼓、書道のパフォーマンスで大盛り上がり。華やかな演出に歓声があがっていました。

また、マレーシアやインドネシアなど、各国の料理を提供する屋台も出店。フィナーレでは、外国人住民と日本人住民が手を取り、いっしょに大声で歌い、楽しんでいました。



ブラジルの歌とダンスを楽しむ参加者

赤米を通して交流を深める

新本赤米の稲刈り

総社赤米大使の相川七瀬さんが11月13日、新本小学校の5年生8人と本庄国司神社赤米保存会のメンバーらと、新本にある本庄国司神社の神田で、赤米の収穫を行いました。

この神田は、6月に相川さんと同小5年生が田植えを行い、保存会のメンバーらが手入れし、管理してきたものです。

児童らは、順調に生育した赤米を丁寧に刈り取りました。刈り取られた赤米は、神饌米として本庄国司神社に奉納されます。



新本の本庄国司神社の神田で、赤米の稲を刈る相川さんと新本小学校の児童ら



市内の事業所と求職者が熱心に話し合う新規高卒者等就職フェア（写真左）と、パート面接会（写真上）

自分に向き合い仕事を探す

パート就職面接会・新規高卒者等就職フェア

10月26日、市内の事業所を対象にした「パート就職面接会」が、11月11日には「新規高卒者等就職フェア」が総合福祉センターで開催されました。

10月26日は、20社の事業所に約50人の求職者が、11月11日は、20社の事業所に約20人の求職者が参加し、メモを取りながら真剣な表情で面接を受け、就職への第一歩を踏み出していました。

●ミニフォト

秋の吉備路をウォーキング



秋の景色を楽しむ

そうじゃ吉備路ウォーキング大会が11月1日に山手公民館広場を発着点に開催され、約700人が参加しました。距離が異なる4コースで備中国分寺や井山宝福寺などの名所を巡り、秋の吉備路を楽しみながら歩いていました。

いきいきと暮らす道しるべに



家族の大切さを発表した

11月7日、総合福祉センターで男女共同参画フォーラムが開かれました。絵てがみの表彰や「明るい家庭づくり」作文の発表後、参加者らは、「金子みすゞの生涯～みんなちがって、みんないい～」の講演に耳を傾けていました。

高齢者スポーツ大会で親睦



優勝を目指して競う

10月31日、きびじアリーナで高齢者スポーツ大会が開催されました。市内の老人クラブ会員ら約250人の参加者は、輪投げやパン食い競争、百足ボール運び競争などで競い合い、熱い声援を送っていました。

消防団実戦放水訓練大会



迅速に機敏な行動で競う団員

10月25日、市消防本部で消防団による実戦放水訓練大会が開催されました。市内18分団が出場。団員4人で編成したチームごとに、日ごろの訓練の成果を発揮し、放水技術の正確性や速さを競っていました。

色濃く実った柿を収穫



おいしそうな柿を選ぶ

砂川公園内にある観光柿園の柿がたわわに実り、10月23日に開園式が行われました。招待された阿曾小学校の児童21人が富有柿の収穫に挑戦。児童らは、自分で収穫した柿の、もぎたての甘さを味わっていました。

秦の郷スタンプラリー



秋晴れの散策を楽しむ

10月25日、秦地区で史跡をたどるスタンプラリーが開かれました。地元住民らでつくる、秦歴史遺産保存協議会が開催。参加者らは、6か所以上を巡ってスタンプを押し、景品のブドウや陶芸品などを受け取っていました。